



平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ラクーン

コード番号 3031 URL <http://www.raccoon.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小方 功

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当副社長 (氏名) 今野 智

TEL 03-5652-1711

四半期報告書提出予定日 平成25年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	4,919	4.1	95	30.0	93	31.5	69	140.2
25年4月期第2四半期	4,724	9.2	73	37.8	71	44.3	28	△14.6

(注) 包括利益 26年4月期第2四半期 69百万円 (141.5%) 25年4月期第2四半期 28百万円 (△12.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第2四半期	12.71	12.27
25年4月期第2四半期	5.31	—

(注) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期第2四半期	2,915	1,490	51.1	254.89
25年4月期	2,837	1,344	47.3	246.54

(参考) 自己資本 26年4月期第2四半期 1,489百万円 25年4月期 1,343百万円

(注) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
26年4月期	—	0.00	—	—	—
26年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注1) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。平成25年4月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

(注2) 現時点において、平成26年4月期末の配当予想は未定であります。

3. 平成26年4月期の連結業績予想(平成25年5月1日～平成26年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,300	5.2	220	21.5	210	19.3	125	△6.0	22.94
	～10,600	～8.3	～230	～27.1	～220	～25.0	～135	～1.5	～24.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年4月期2Q	5,844,600 株	25年4月期	5,448,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年4月期2Q	— 株	25年4月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年4月期2Q	5,472,273 株	25年4月期2Q	5,448,600 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株につき300株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策等の効果により円高の是正や株価の回復が進むとともに、個人消費や企業業績の回復の動きが期待される状況で推移いたしました。しかしながら、海外景気の下振れ懸念や平成26年4月からの消費税増税による個人消費縮小の懸念等により先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループはEC事業と売掛債権保証事業の事業規模の拡大に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,919,945千円（前年同期比4.1%増）となりました。

利益面におきましては、売掛債権保証事業においては営業力強化のため人員を増加したことで人件費が増加しましたが、その他の販売費及び一般管理費は全般的に低水準で推移いたしました。

この結果、営業利益95,659千円（前年同期比30.0%増）、経常利益93,686千円（前年同期比31.5%増）、四半期純利益69,530千円（前年同期比140.2%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①EC事業

EC事業におきましては、主力事業である「スーパーデリバリー」において、引き続き質の高い会員小売店及び出展企業を獲得した上で、客単価や稼働率の向上を図り、両者の継続した取引を拡大することで商品売上高を増加させていくことに取り組んでおります。

具体的な取り組みといたしましては平成25年9月25日より、POSレジアプリ「ユビレジ」を提供する株式会社ユビレジと提携いたしました。システム連携により、会員小売店は「スーパーデリバリー」で仕入れた商品の情報を「ユビレジ」に自動的に取り込むことができ、スムーズな販売活動を行うことが可能になりました。

また、平成25年10月28日より、卸価格を表示せず商品情報だけを閲覧できるカタログページ「catalog view（カタログビュー）」の提供を開始しております。通常、「スーパーデリバリー」は仕入れ専用サイトとして卸価格や仕入れに関する情報を中心としたページになっていますが、「catalog view（カタログビュー）」では「スーパーデリバリー」に掲載されている商品を店頭で一般消費者も閲覧できるよう、卸価格を伏せた状態にし、商品情報を中心に表示したページとなっています。会員小売店は店頭でパソコンまたはタブレットにて顧客と一緒に

「catalog view（カタログビュー）」を閲覧し、受注を取ることができます。また、商品を掲載している出展企業側も、展示会や商談時に自社カタログとして「catalog view（カタログビュー）」を活用した取引が可能となります。

上記2つの取り組みは、サービス提供による売上はありませんが、会員小売店と出展企業が積極的にサービスを活用することで「スーパーデリバリー」の利便性を実感でき、結果的に商品売上の増加に寄与していくことに期待しています。なお、このようなスマートフォンやタブレット端末を利用したサービスの提供は、小売店からのニーズの増加が見込めることから今後も積極的に進めていきたいと考えております。

また、平成25年9月に創業20周年記念ポイントキャンペーンを実施いたしました。キャンペーン期間中は、通常、付与率の低い会員小売店に対しても付与率を大幅に引き上げて付与いたしました。これにより、発行するポイントが一時的に増加し販売促進費を積み増し計上いたしました。

この結果、「スーパーデリバリー」の商品売上高は、4,428,013千円（前年同期比2.9%増）となりました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における「スーパーデリバリー」の経営指標は会員小売店数38,448店舗（前期末比1,908店舗増）、出展企業数941社（前期末比20社減）、商材掲載数416,268点（前期末比46,549点増）となりました。

一方、「Paid」におきましては、引き続き企業間取引や卸売サイトの運営会社等と「Paidカート連携サービス」導入の業務提携に注力することで加盟企業とPaidメンバーの増加を図りました。また、知名度向上の一環として、スタートアップベンチャー企業の交流イベント「第8回 Samurai Venture Summit」に出展いたしました。

この結果、EC事業の売上高は4,743,428千円（前年同期比3.0%増）となりました。セグメント利益におきましては上記、「ポイントキャンペーン」の実施による販売促進費の積み増し計上と、前四半期連結累計期間においてソフトウェアの耐用年数の変更により一時に減価償却費3,022千円を計上した影響により、セグメント利益は49,038千円（前年同期比9.9%減）となりました。

②売掛債権保証事業

売掛債権保証事業におきましては、引き続き営業力強化に取り組むことで保証残高の拡大を図っております。

なお、サービスサイトでは平成23年5月のデザインリニューアルに続いて、9月にはロゴを変更いたしました。新しいロゴは「売掛保証サービス＝「企業を守る」という点、また、同時に「攻めの経営」にも活用して欲しい」という願いから、強固な盾と矛をイメージし、モチーフにしています。

この結果、保証残高は4,167,995千円（前期末比30.0%増）となりました。売掛債権保証事業の売上高は239,685千円（前年同期比38.6%増）、セグメント利益は29,812千円（前年同期比241.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より78,295千円増加して2,915,908千円になりました。流動資産は95,920千円増加して2,547,281千円になりました。増加の主な要因は取引の増加により売掛金が35,969千円増加したこと、売掛債権保証事業にかかる再保険の支払いによる影響で前払費用が55,335千円増加したことによるものです。固定資産は17,624千円減少して368,627千円になりました。減少の主な要因はソフトウェアとソフトウェア仮勘定が合計で26,300千円増加した一方で、通常の減価償却に加え、今後利用しないと判断した一部のソフトウェアの耐用年数の変更による減価償却費の計上により、ソフトウェアが34,622千円減少したこと、のれんの償却費用4,860千円の計上によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より68,125千円減少して1,424,922千円になりました。流動負債は48,860千円増加して1,383,028千円となりました。増加の主な要因は1年内返済予定の長期借入金返済により52,602千円減少し、長期借入金からの振替で18,102千円増加した一方で、取引の増加により買掛金が83,992千円増加したことによるものです。固定負債は116,986千円減少して41,893千円になりました。減少の主な要因は転換社債型新株予約権付社債が転換により99,000千円減少したこと、長期借入金返済により18,102千円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より146,421千円増加して1,490,986千円になりました。増加の主な要因は転換社債型新株予約権付社債の転換により資本金と資本準備金が合計で99,000千円増加したこと、四半期純利益69,530千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より2,820千円増加し859,087千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は105,761千円となりました。この主な要因は、売掛債権保証事業にかかる再保険の支払いによる影響により前払費用が55,335千円増加、取引量の増加に伴い売上債権が35,969千円増加及び法人税等の支払額15,190千円を計上した一方で、税金等調整前四半期純利益93,686千円、減価償却費42,229千円を計上及び仕入債務が83,992千円増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は28,148千円となりました。主な要因は、ソフトウェア開発及びソフトウェア購入による無形固定資産の取得による支出26,300千円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は74,792千円となりました。主な要因は長期借入金の返済による支出52,602千円、配当金の支払額21,794千円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては概ね予定通りに推移しており、現時点においては前回公表時より変更はありません。

上記に記載した将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	857,245	860,280
売掛金	1,389,530	1,425,500
求償債権	27,514	29,590
貯蔵品	413	268
前払費用	34,531	89,867
繰延税金資産	137,472	136,155
その他	7,563	8,575
貸倒引当金	△2,910	△2,955
流動資産合計	2,451,360	2,547,281
固定資産		
有形固定資産		
建物	16,989	16,989
減価償却累計額	△8,321	△8,981
建物(純額)	8,667	8,008
車両運搬具	2,189	2,189
減価償却累計額	△1,179	△1,347
車両運搬具(純額)	1,010	842
工具、器具及び備品	19,388	18,638
減価償却累計額	△9,126	△8,521
工具、器具及び備品(純額)	10,262	10,116
有形固定資産合計	19,940	18,967
無形固定資産		
ソフトウェア	144,908	192,573
ソフトウェア仮勘定	65,116	9,129
のれん	73,710	68,850
その他	1,194	1,139
無形固定資産合計	284,930	271,692
投資その他の資産		
投資有価証券	12,153	11,453
敷金及び保証金	40,264	40,062
繰延税金資産	28,880	26,367
その他	83	83
投資その他の資産合計	81,381	77,967
固定資産合計	386,251	368,627
資産合計	2,837,612	2,915,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,009,253	1,093,246
1年内返済予定の長期借入金	85,744	51,244
未払金	46,076	46,384
未払法人税等	18,916	23,629
保証履行引当金	33,660	32,192
賞与引当金	29,068	32,715
役員賞与引当金	7,000	—
販売促進引当金	17,330	19,890
その他	87,120	83,726
流動負債合計	1,334,168	1,383,028
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	99,000	—
長期借入金	52,750	34,648
資産除去債務	1,715	1,726
その他	5,414	5,518
固定負債合計	158,880	41,893
負債合計	1,493,048	1,424,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	744,900	794,400
資本剰余金	132,372	181,872
利益剰余金	465,294	513,030
株主資本合計	1,342,566	1,489,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	724	425
その他の包括利益累計額合計	724	425
新株予約権	1,273	1,258
純資産合計	1,344,564	1,490,986
負債純資産合計	2,837,612	2,915,908

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
売上高	4,724,259	4,919,945
売上原価	3,935,166	4,069,379
売上総利益	789,093	850,566
販売費及び一般管理費	715,502	754,906
営業利益	73,590	95,659
営業外収益		
受取利息及び配当金	456	377
受取手数料	2,640	2,686
その他	1,111	382
営業外収益合計	4,208	3,446
営業外費用		
支払利息	2,547	1,019
社債利息	3,736	3,531
その他	273	869
営業外費用合計	6,557	5,419
経常利益	71,241	93,686
特別損失		
本社移転費用	31,904	—
特別損失合計	31,904	—
税金等調整前四半期純利益	39,336	93,686
法人税等	10,384	24,155
少数株主損益調整前四半期純利益	28,951	69,530
四半期純利益	28,951	69,530

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	28,951	69,530
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△289	△298
その他の包括利益合計	△289	△298
四半期包括利益	28,662	69,231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,662	69,231
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	39,336	93,686
減価償却費	32,728	42,229
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△490	44
保証履行引当金増減額(△は減少)	2,591	△1,467
受取利息及び受取配当金	△456	△377
支払利息及び社債利息	6,284	4,550
移転費用	31,904	—
売上債権の増減額(△は増加)	△42,403	△35,969
求償債権の増減額(△は増加)	△492	△2,075
たな卸資産の増減額(△は増加)	278	145
仕入債務の増減額(△は減少)	157,780	83,992
前受金の増減額(△は減少)	5,194	△716
前払費用の増減額(△は増加)	△22,542	△55,335
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,508	△1,441
その他	△14,324	△2,413
小計	190,880	124,851
利息及び配当金の受取額	456	377
利息の支払額	△5,763	△5,089
移転費用の支払額	△16,205	—
法人税等の支払額	△4,135	△15,190
法人税等の還付額	23,993	812
営業活動によるキャッシュ・フロー	189,226	105,761
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△2,050
無形固定資産の取得による支出	△58,137	△26,300
敷金の差入による支出	△32,391	—
差入保証金の差入による支出	—	△318
差入保証金の回収による収入	—	520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,528	△28,148
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△89,772	△52,602
配当金の支払額	△18,162	△21,794
その他	△395	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△108,329	△74,792
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,631	2,820
現金及び現金同等物の期首残高	834,726	856,266
現金及び現金同等物の四半期末残高	825,095	859,087

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年10月21日付で、転換社債型新株予約権付社債が行使されました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ49,500千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が794,400千円、資本準備金が150,816千円となっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	売掛債権 保証事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,604,844	119,415	4,724,259	—	4,724,259
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	53,528	53,528	△53,528	—
計	4,604,844	172,944	4,777,788	△53,528	4,724,259
セグメント利益	54,410	8,721	63,131	10,458	73,590

(注) 1. セグメント利益の調整額10,458千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	売掛債権 保証事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,743,428	176,517	4,919,945	—	4,919,945
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	63,168	63,168	△63,168	—
計	4,743,428	239,685	4,983,114	△63,168	4,919,945
セグメント利益	49,038	29,812	78,851	16,807	95,659

(注) 1. セグメント利益の調整額16,807千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。